

平成28年3月期
第2四半期(中間)決算説明資料



平成27年11月

ハイライト	2頁	口座サービス①	8頁
損益状況【単体】	3頁	口座サービス②	9頁
ATM利用件数と受入手数料単価の推移	4頁	損益状況【連結】	10頁
ATM台数と平均件数の推移	5頁	北米子会社	11頁
ATM事業の拡充①	6頁	インドネシア子会社・国内子会社	12頁
ATM事業の拡充②	7頁	財務の状況【単体】・配当政策	13頁

本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。

(<http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

【2015年度中間決算】

【単体】

■ 当第2四半期は、前年同期間比増収減益

- ・ATM利用件数・手数料単価は計画通り、個人向けローン等が好調。経常収益は計画比プラス
- ・経常費用が災害対応・セキュリティ対策費等により計画を上回り、経常利益は計画比若干の未達

【連結】

■ 前年同期間比増収減益

- ・経常収益は計画達成も、北米子会社の計画未達により経常利益は計画比マイナス

【2015年度の見通し】

■ 通期では、単体・連結ともに増収増益を確保

- ・単体では、経常収益の伸長を維持しつつ経費コントロールを実施
⇒通期計画を収益・利益とも上方修正
- ・北米子会社等の計画を下方修正するが、連結の当初計画は維持、増収増益を確保

損益状況【単体】

(単位:億円)

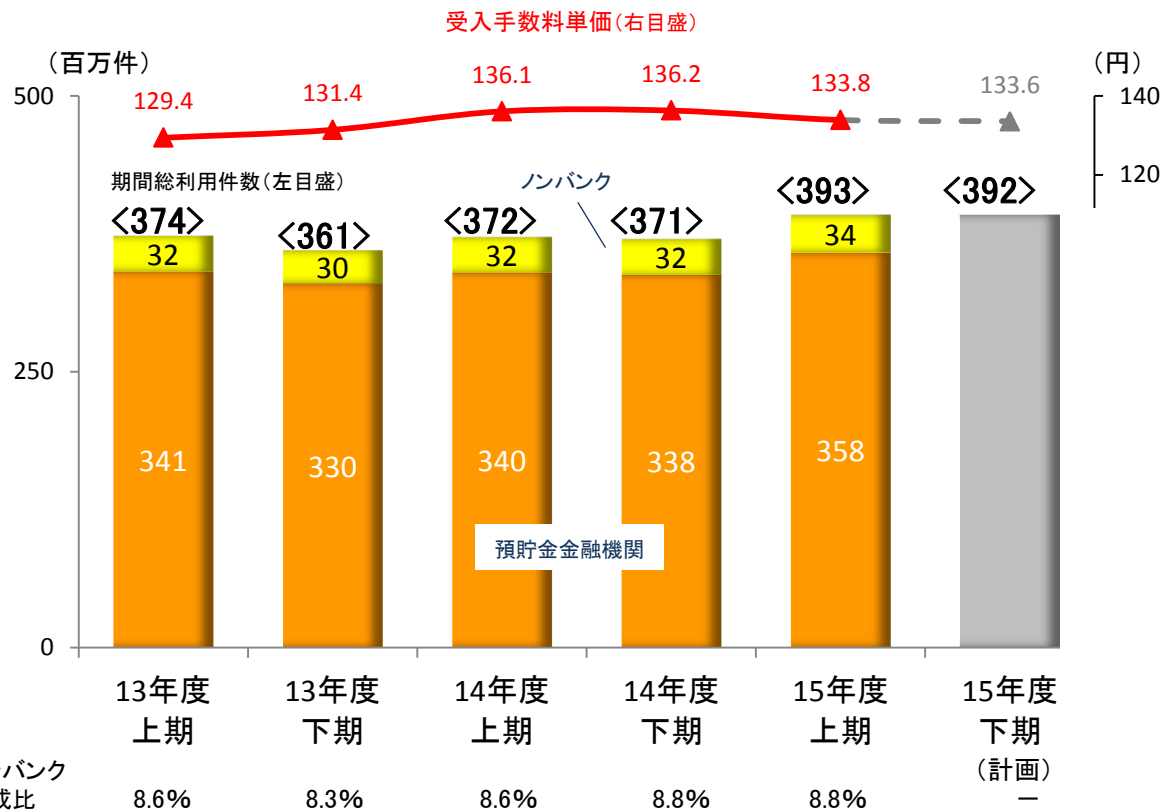
	14年度 通期実績		15年度 当初計画		15年度 上期実績		15年度 修正計画 (11月6日時点)
	上期実績	上期計画	上期計画	前年差異			
経常収益	1,056	526	1,105	551	553	27	1,111
うちATM受入手数料	989	495	1,025	514	514	19	1,026
経常費用	673	324	714	351	355	31	715
うち資金調達費用	12	6	12	6	6	0	12
うちATM設置支払手数料	119	59	125	62	63	4	127
うち業務委託費	168	83	173	87	88	5	177
うち保守管理費	37	18	40	18	19	1	37
うち土地建物機械賃借料	9	4	9	4	4	0	9
うち減価償却費	150	71	175	86	86	15	175
経常利益	382	202	390	200	198	△4	395
特別損益	△1	△1	△1	△0	△0	1	△1
法人税等合計	136	71	128	66	65	△6	130
純利益	244	129	260	133	132	3	263
EBITDA	533	273	566	286	284	11	570
期末ATM設置台数(台)	21,056	20,307	22,400	21,700	21,779	1,472	22,400
ATM受入手数料単価(円)	136.2	136.1	133.6	133.8	133.8	△2.3	133.7
平均利用件数(件/台/日)	100.9	102.5	99.0	100.7	100.7	△1.8	99.1
総利用件数(百万件)	743	372	785	393	393	21	785

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

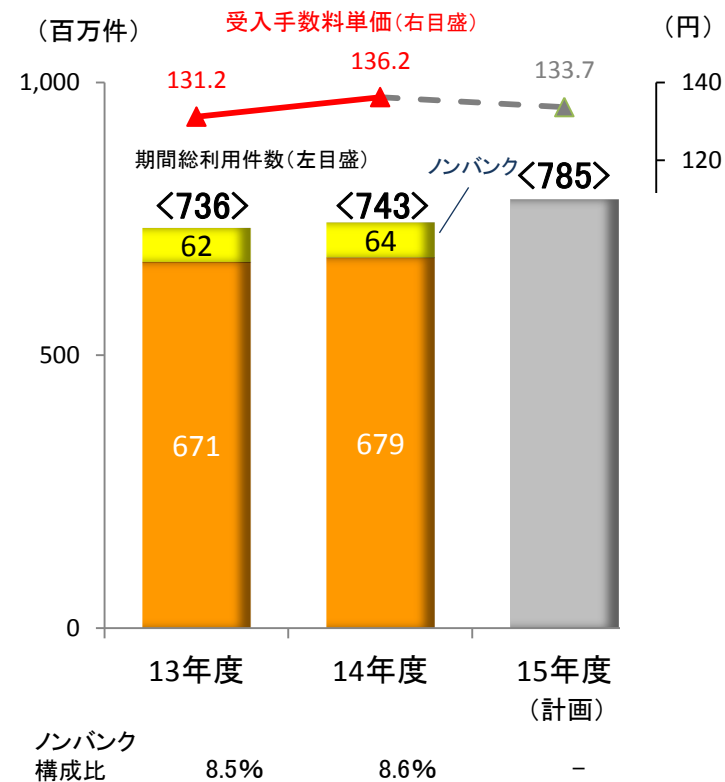
注2) 前年差異は億円単位(総利用件数は百万件単位)で比較

注3) EBITDA=経常利益+減価償却費

半期推移

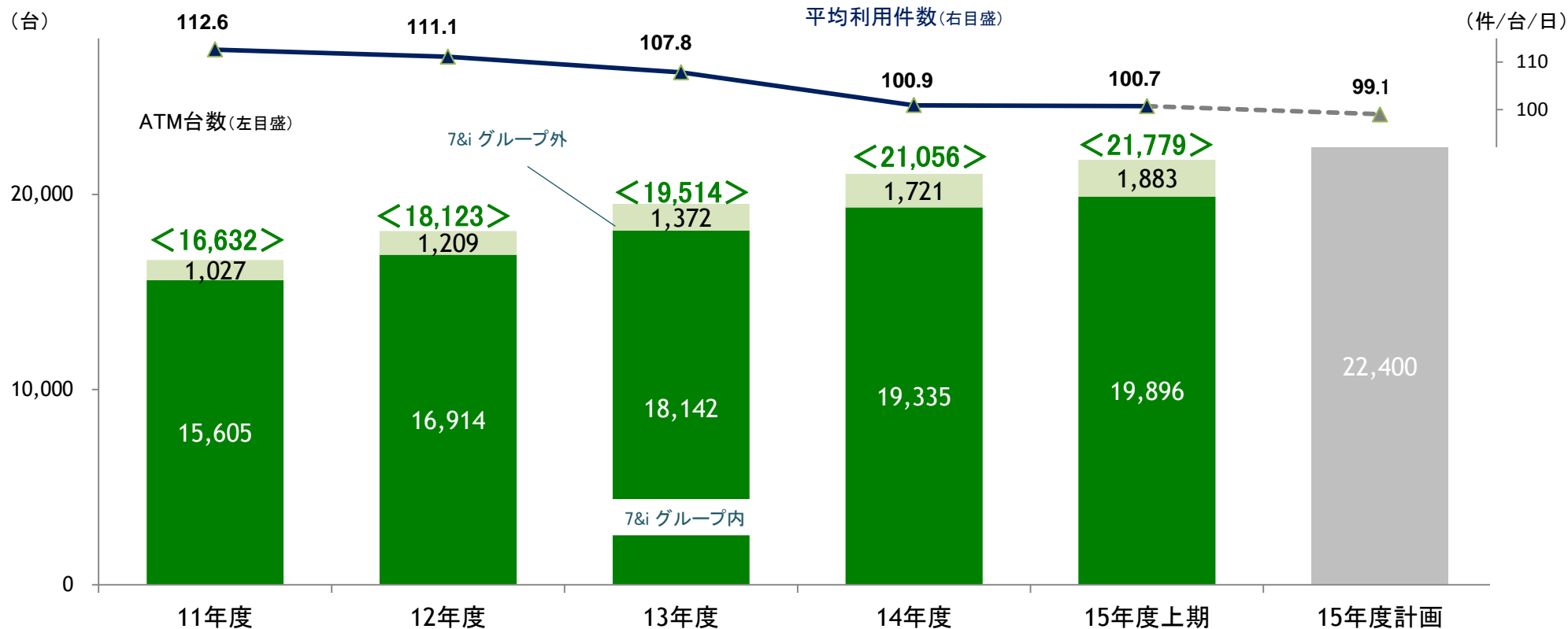


年度推移



注1) 総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず
 注2) 計数は全て表示単位未満切捨て
 注3) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出
 注4) 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、海外カード等の合計

ATM台数と平均件数の推移



純増台数	+ 1,269	+ 1,491	+ 1,391	+1,542	+723	+ 約1,300
第3世代台数(期末)	2,897	7,797	13,080	17,603	19,871	約21,300

注1) 平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず
 注2) 計数は全て表示単位未満切捨て

■ 海外カード対応のメリットを活かし、交通・観光・流通等の施設にATMを積極展開

ATM設置事例

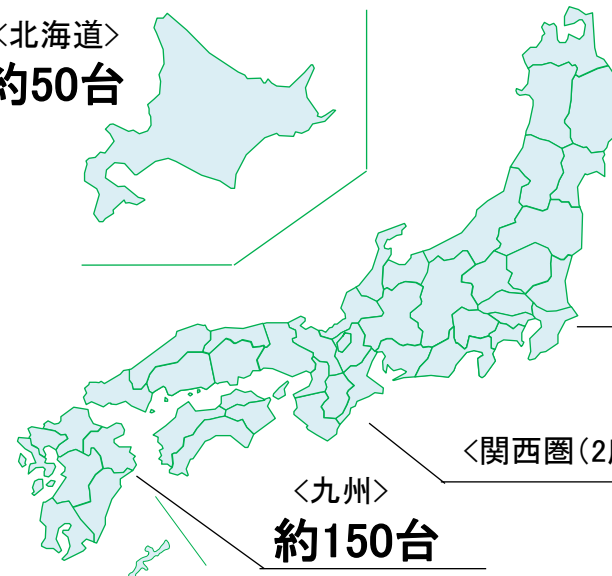


関西圏に初の直営店を出店

新宿・新橋に次ぐ全国3拠点目の直営ATMコーナーを2015年7月に大阪・梅田に開設



＜北海道＞
約50台



＜首都圏(1都3県)＞
約900台

＜関西圏(2府4県)＞ 約360台

＜九州＞
約150台

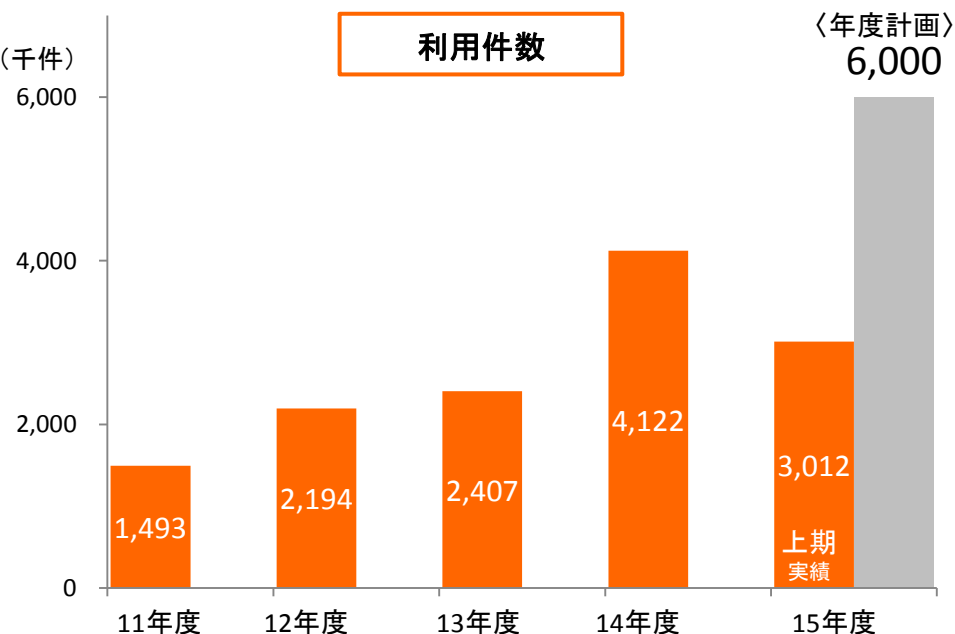
※グループ外ATMの9月末台数

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度 上期
空港	33	36	36	39	42
駅・交通系	84	98	138	207	246
商業施設	298	417	539	724	825
その他 (証券会社等)	612	658	659	751	770
グループ外計	1,027	1,209	1,372	1,721	1,883

- 海外カード利用件数は前年同期間比約70%増
- グループと協業し訪日外国人へ積極的な告知を実施



海外カード



インバウンド対応

- ・海外発行カード利用可能のメリットを積極告知



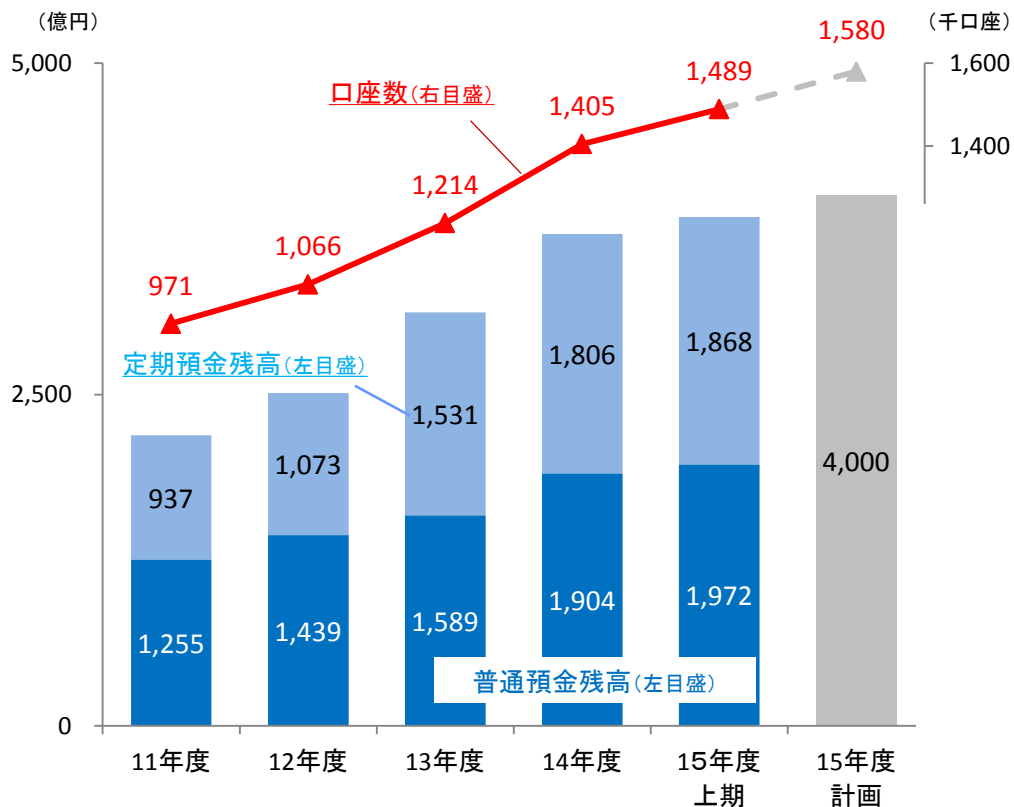
空港カウンターにて配布

- ・2015年12月より海外発行カード利用時のATM表示画面等を12言語対応に変更予定



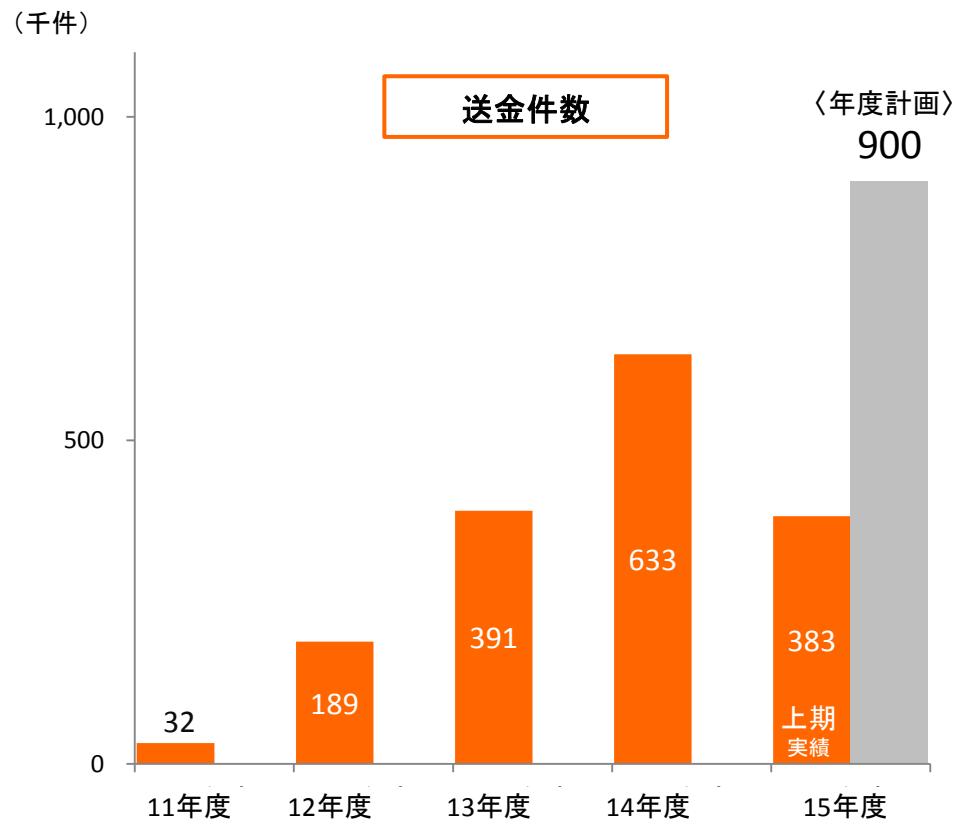
個人の口座数と預金残高

・口座サービスの充実に伴い口座数、残高とも伸長



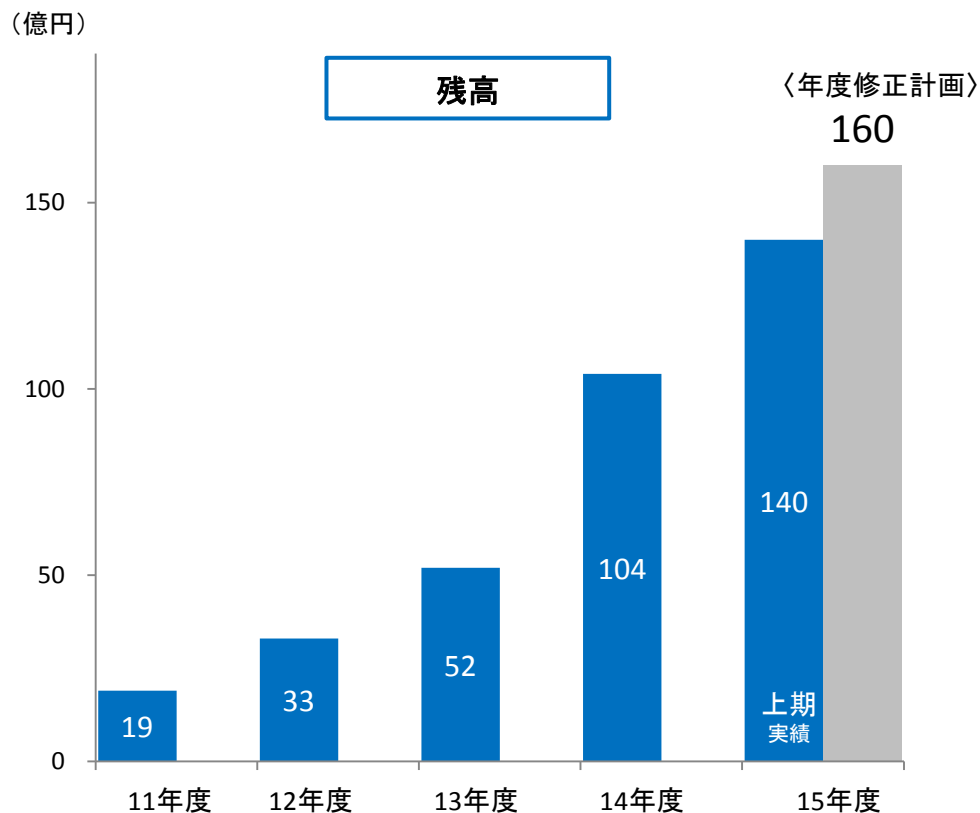
海外送金サービス

- ・フィリピン・中国の一部銀行へ口座宛送金開始 (2015年3月より)
- ・需要期の下期に向け営業強化



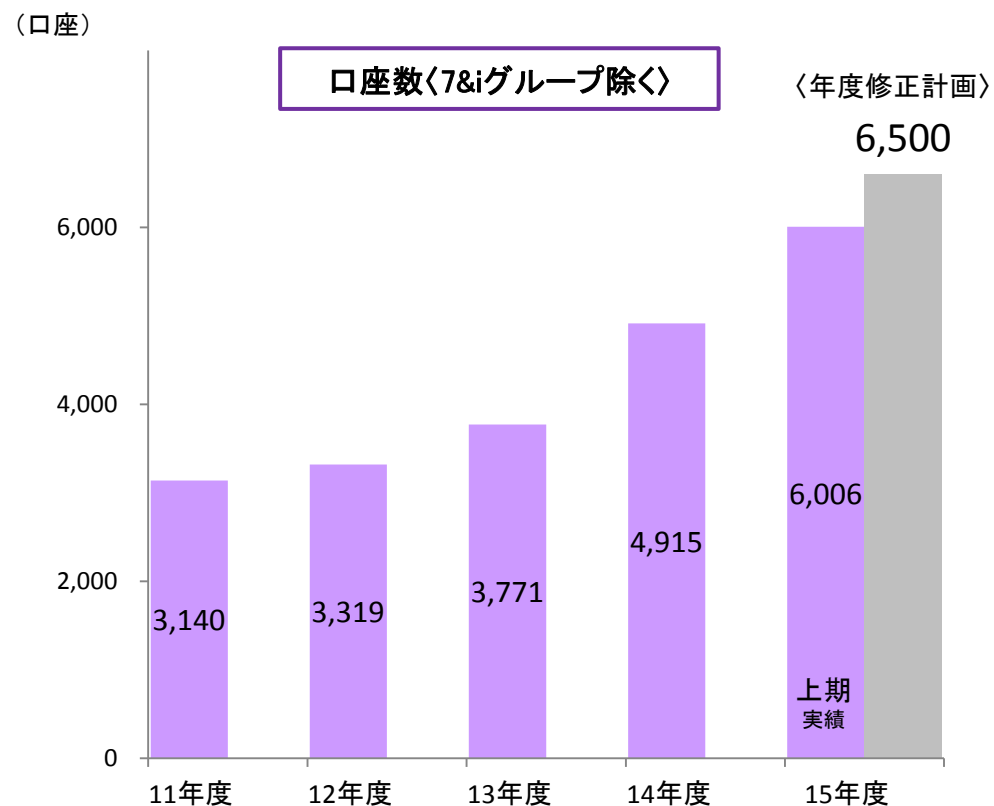
個人向けローンサービス

- ・好調な残高伸長を受け通期計画を修正
(当初計画比+10億円)



売上金入金サービス

- ・新規顧客獲得が好調に進み通期計画を修正
(当初計画比+1,000口座)



■ 経常収益は北米子会社等の影響で下方修正
 ⇒ 経費コントロールを実施し、経常利益は計画値確保

(単位: 億円)

	14年度 通期実績		15年度 当初計画		15年度 上期実績		15年度 修正計画 (11月6日時点)
	上期実績	上期計画	前年差異				
経常収益	1,140	567	1,210	599	600	33	1,203
経常費用	769	370	832	406	410	40	825
経常利益	370	197	377	193	189	△8	377
純利益	232	124	248	127	127	3	251

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 前年差異は億円単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

:1米ドル

2014年度実績=105.79円、2015年度上期実績=120.30円、2015年度計画=118.00円

:100インドネシアルピア

2014年度実績=0.904円、2015年度上期実績=0.928円、2015年度計画=0.900円

注4) 連結の純利益は親会社株主に帰属する当期(中間)純利益

《 各社連結対象期間 》

セブン銀行	2015年4月1日	～	2015年9月30日
FCTi	2015年1月1日	～	2015年6月30日
ATMi	2015年1月1日	～	2015年6月30日
BBF	2015年4月1日	～	2015年9月30日

北米子会社

- 2015年7月、7-Eleven, Inc.とATM設置契約(ATM設置は2017年7月以降を予定)を締結
- 競争激化による設置台数減少、ICカード対応費等一時的コスト増加により計画を下方修正

FCTI 単体

(単位:百万米ドル)

	14年度 通期実績 (連結対象期間)		15年度 当初計画		15年度 上期実績 (1月~6月)		15年度 修正計画 (11月6日時点)
	上期(1月~6月)	上期(1月~6月)	上期(1月~6月)	上期(1月~6月)	前年差異		
経常収益	79.6	39.7	89.0	40.7	38.9	△0.8	77.8
経常費用	77.8	38.3	86.9	39.9	39.8	1.5	78.9
経常利益	1.7	1.3	2.1	0.7	△0.8	△2.1	△1.0
当期純利益	1.0	0.6	1.3	0.4	△0.6	△1.2	△0.9
EBITDA	8.0	4.5	10.0	4.1	2.3	△2.2	5.5
ATM台数(台)	6,329	6,635	8,200	-	6,348	△287	6,400

注1) 連結損益の為替レート: 1米ドル

2014年度実績=105.79円、2015年度上期実績=120.30円、2015年度計画=118.00円

注2) 2015年9月末のATM台数は6,375台

インドネシア子会社

■社名 PT.ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL
(ATMi: アバディ タンバ ムリア インターナショナル)

・2015年8月よりホテル・商業施設等へATM設置を開始、9月末ATM設置台数は20台

ATMi単体

(単位:百万円)

	14年度 通期実績 (連結対象期間)	15年度		当初計画
		上期(1月~6月)		
		計画	実績	
経常収益	2	2	2	18
経常費用	10	28	16	100
経常利益	△7	△25	△13	△82
純利益	△7	△25	△9	△82

注1) 為替レート:100インドネシアルピア

2014年度実績=0.904円、2015年度上期実績=0.928円、2015年度計画=0.900円

注2) ATMiは2014年6月10日設立のため、14年度通期連結決算には、ATMiの連結対象期間(2014年6月10日~2014年12月31日)のみ連結

国内子会社

■社名 株式会社バンク・ビジネスファクトリー
(BBF: Bank Business Factory)

・外部事務受託先は4社(2015年9月末)

BBF単体

(単位:百万円)

	14年度 通期実績 (連結対象期間)	15年度			
		上期		当初計画	修正計画 (11月6日時点)
		計画	実績		
経常収益	426	340	328	700	684
経常費用	399	322	308	663	658
経常利益	26	18	19	37	26
純利益	5	12	14	25	17

注) BBFは2014年7月1日設立のため、14年度通期連結決算には、BBFの連結対象期間(2014年7月1日~2015年3月31日)のみ連結

貸借対照表(2015年9月末)

(単位:億円)

現金預け金 6,687 (ATM装填用 等)	預金 5,332 (個人預金 3,841)
	社債・借入金 1,300
有価証券 550	ATM仮受金 395 その他 164
ATM仮払金 858	純資産 1,750
その他 846	
資産 8,941	負債+純資産 8,941

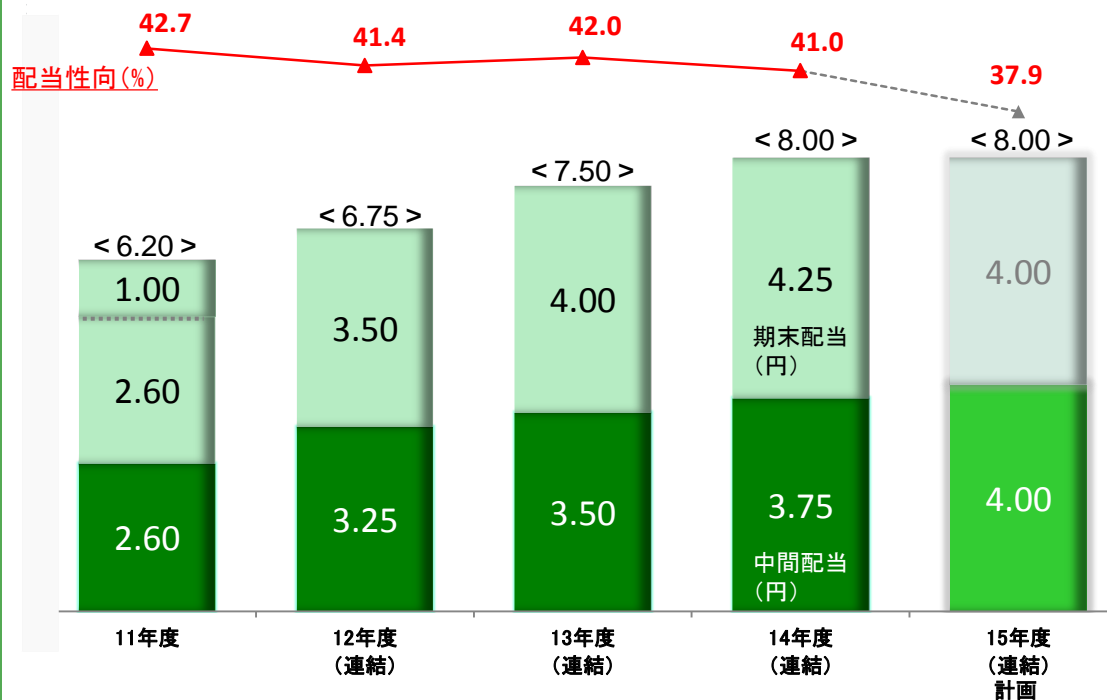
単体自己資本比率(国内基準) 54.31%(速報値)
格付 S&P A+
R&I AA

方針

連結配当性向は年間35%を最低目標に、年2回の配当を実施

中間配当

配当金額 : 1株当たり4.00円(配当総額47億円)・・・当初計画通り
支払開始日 : 2015年12月1日



注1) 2011年12月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を実施
注2) 2011年度は期末配当に1.00円の東証上場記念配を上乗せ
注3) 2012年度以降は連結決算